

善意のはやにえ

“ひとに踏まれないように、落とし主が探しやすいようにフェンスや木などに落し物を引っ掛けておいてあげる行為＝「善意のはやにえ」。そこにはひとのやさしさとともに、落し物の形状、質感および落とされた周辺環境などの条件から、いかに目立ち、いかに落ちないかを短時間に考え出した行為者＝「モッズ」（本家モズになぞらえて）の苦悩やひらめきそして善意の度合いが垣間見える。善意のはやにえはそんなものたちのフィールドワークです。

2015年に伊丹市昆虫館のモズのはやにえ展の企画で善意のはやにえの写真展示と善意のはやにえの観察会を開催しました。

参考サイト)

善意のはやにえ

<http://zeninohayanie.blogspot.jp/>

